



CASBEE®熊本《改修》【性能表示】 (改修後)

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	管理事務所	階数	1.00		
建設地	熊本県宇城市小川町東小川650	構造	RC造		
用途地域	0	平均居住人員	15 人		
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	3,000 時間/年		
建物用途	事務所	改修後の想定使用年数	30 年		
改修竣工年月	2011年1月 予定	改修工事期間	2009年1月1日～2009年12月10日		
新築時竣工年月	不明	評価の実施日	2010年12月1日		
敷地面積	51,650 m ²	作成者	2010年12月10日		
建築面積	131 m ²	確認日			
延床面積	131 m ²	確認者			
改修目的	省エネ	現在までの主な改修履歴	内壁ビニールクロス張替え、空調機取替え、外壁木板張り、外壁塗装		
		改修対象項目	躯体	なし	
			外装	なし	
			内装	なし	
			設備	照明器具の取替え	

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

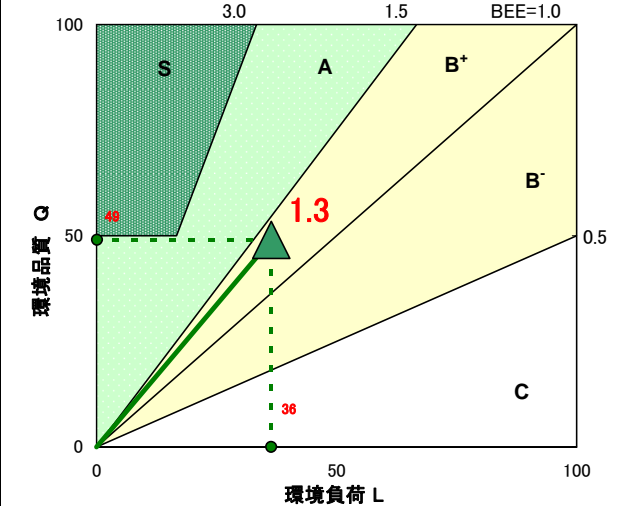


BEE = 1.3


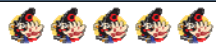




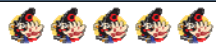




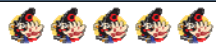




■ BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$

■ CASBEE 評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	☆☆☆☆☆	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	☆☆☆☆	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	☆☆☆	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	☆☆	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	☆	劣る	0.5未満	—




2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価		評価点												
		77												
	評価点													
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	88.7													
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	57.5													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75													
【重点事項4】 循環型社会の実現	72.7													
		■ 熊本県重点評価基準												
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														
※評価点は、100点以上が推奨です。														

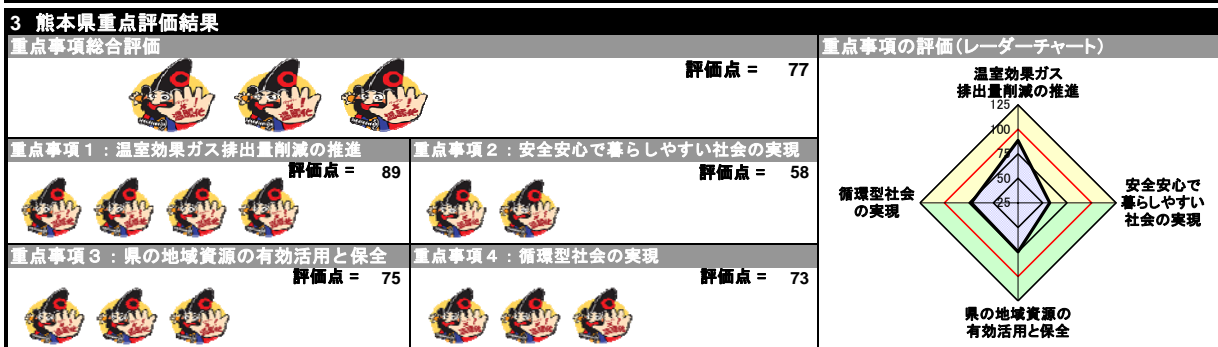
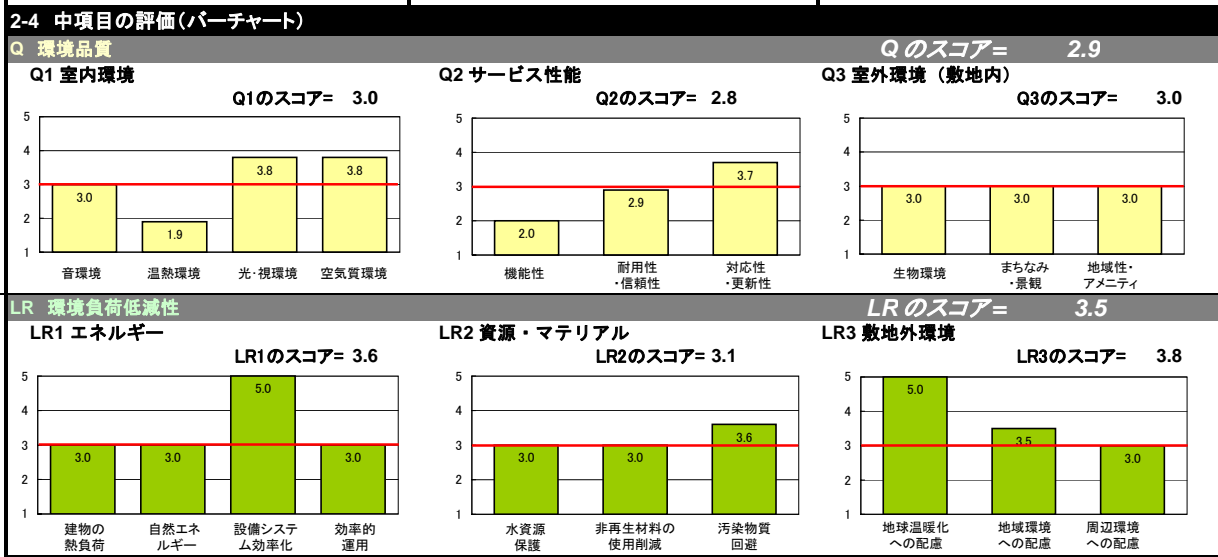
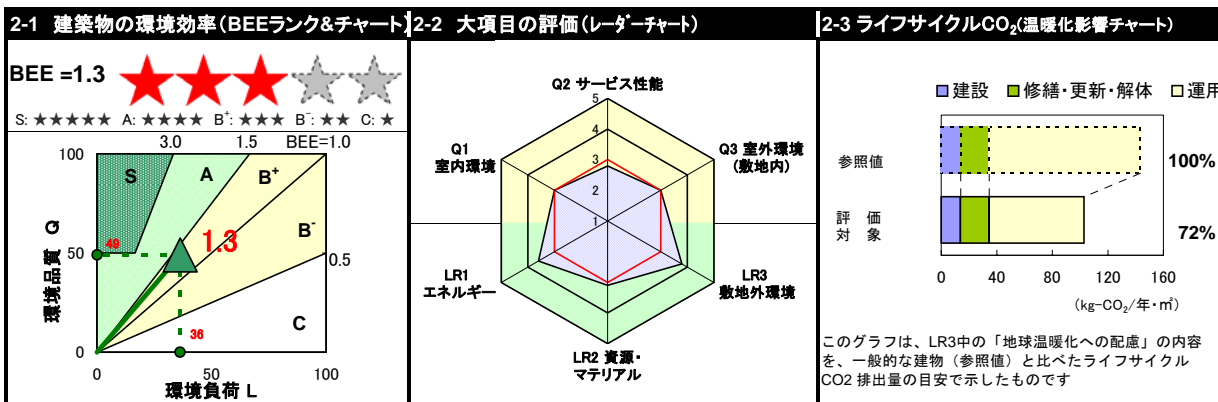
CASBEE 熊本 《改修》【評価結果】

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版) 2009年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-Rnb_2009(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	管理事務所	階数	1.00
建設地	熊本県宇城市小川町東小川650	構造	RC造
用途地域	0	平均居住人員	15 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所	改修後の想定使用年数	30 年
改修竣工年月	2011年1月 予定	改修工事期間	2009年1月1日～2009年12月10日
新築時竣工年月	不明	評価の実施日	2010年12月1日
敷地面積	51,650 m ²	作成者	
建築面積	131 m ²	確認日	2010年12月10日
延床面積	131 m ²	確認者	
改修目的	省エネ	現在までの主な改修履歴	内壁ビニールクロス張替え、空調機取替え、外壁木板張り、外壁塗装



改修対象項目	躯体	なし
	外装	なし
	内装	なし
	設備	照明器具の取替え



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE[®]熊本《改修》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

本計画書は、熊本県中小企業者温暖化対策事業の申請に係る添付書類「建築物環境配慮計画書」として作成するものである。

Q1 室内環境

Q2 サービス性能

Q3 室外環境(敷地内)

1.生物環境の保全と創出【生物環境の保全】について

敷地内の(外周部)は、緑地(スギ林)であり、事務所前は庭園となっています。庭園ないには、鯉を飼っている泉水(池)が作られており、小鳥も飛来している。庭園の周りには、ベンチが置かれ、職員は無論、近隣住民も自由に入ることが出来、憩いの空間となっています。(2011.10.10追記)

LR1 エネルギー

事務所内の照明器具を「省エネ照明器具」に取り替える。

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

その他

0

CASBEE-改修(簡易版)2009年版
管理事務所

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版)2009年版
 ■評価ソフト: CASBEE-RNb_2009(v.1.3)

④スコア表示シート

配慮項目 []内: CASBEE-既存の項目名	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分				住居・宿泊部分				全体	
		改修前	改修後	重み係数	重み係数	改修前	改修後	重み係数	重み係数	改修前	改修後
Q 建築物の環境品質										2.9	2.9
Q1 室内環境				0.4	0.4					3.0	3.0
1 音環境										3.0	3.0
1.1 騒音											
1 暗騒音レベル				1.00	1.00	-	-	-	-		
2 設備騒音対策[等価騒音レベル]				0.40	0.40	-	-	-	-		
1.2 遮音											
1 開口部遮音性能				-	-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能				-	-	-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-	-		
1.3 吸音											
2 温熱環境										1.9	1.9
2.1 室温制御				0.35	0.35	-	-	-	-		
1 室温設定[室温]				0.50	0.50	-	-	-	-		
2 露点変動・湿気制御性				0.38	0.38	-	-	-	-		
3 外皮性能				0.25	0.25	-	-	-	-		
4 ゾーン別制御性	パッケージ型による個別制御			0.38	0.38	-	-	-	-		
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	-	-		
6 個別制御				-	-	-	-	-	-		
7 時間外空調				-	-	-	-	-	-		
8 監視システム				-	-	-	-	-	-		
2.2 湿度制御				0.20	0.20	-	-	-	-		
2.3 空調方式				0.30	0.30	-	-	-	-		
1 上下温度差				-	-	-	-	-	-		
2 平均気流速度				1.00	1.00	-	-	-	-		
3 光・視環境										3.6	3.8
3.1 昼光利用				0.25	0.25	-	-	-	-		
1 昼光率	昼光率:4.06			0.30	0.30	-	-	-	-		
2 方位別開口				0.60	0.60	-	-	-	-		
3 昼光利用設備				0.40	0.40	-	-	-	-		
3.2 グレア対策				0.30	0.30	-	-	-	-		
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	-	-		
2 昼光制御	庇、ブラインドの設置			1.00	1.00	-	-	-	-		
3.3 照度				0.15	0.15	-	-	-	-		
1 照度	平均照度:758 lx			1.00	1.00	-	-	-	-		
2 照度均斉度				-	-	-	-	-	-		
3.4 照明制御				0.25	0.25	-	-	-	-		
4 空気質環境										3.8	3.8
4.1 発生源対策				0.50	0.52	-	-	-	-		
1 化学汚染物質				0.33	0.33	-	-	-	-		
2 アスベスト対策				0.33	0.33	-	-	-	-		
3 燃焼・加熱等				-	-	-	-	-	-		
4 レジオネラ対策	給湯器・冷却塔なし			0.33	0.33	-	-	-	-		
4.2 換気				0.30	0.29	-	-	-	-		
1 換気量	1/15以上の開口			0.33	0.33	-	-	-	-		
2 自然換気性能				0.33	0.33	-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				0.33	0.33	-	-	-	-		
4 結露対策				-	-	-	-	-	-		
4.3 運用管理				0.20	0.19	-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙、喫煙室なし			1.00	1.00	-	-	-	-		
Q2 サービス性能				0.3	0.3					2.8	2.8
1 機能性										2.0	2.0
1.1 機能性・使いやすさ				0.40	0.40	-	-	-	-		
1 広さ・収納性				0.57	0.57	-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				0.33	0.33	-	-	-	-		
3 バリアフリー計画				0.33	0.33	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				0.43	0.43	-	-	-	-		
1 広さ感・景観	天井高:2.7m			0.33	0.33	-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース				0.33	0.33	-	-	-	-		
3 内装計画				0.33	0.33	-	-	-	-		
1.3 維持管理											
1 メンテナンスに配慮した建材と設計[総合的な取り組み]				-	-	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保[清掃管理業務]				-	-	-	-	-	-		
3 衛生管理業務				-	-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性										2.9	2.9
2.1 耐震・免震				0.25	0.25	-	-	-	-		
1 耐震性				0.80	0.80	-	-	-	-		
2 免震制振性能				0.20	0.20	-	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				0.25	0.25	-	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				0.25	0.25	-	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				0.25	0.25	-	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	-	-	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				0.08	0.08	-	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				0.17	0.17	-	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				0.25	0.25	-	-	-	-		

2.3 適切な更新	1	屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新	3.0	3.0	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	
	2	配管・配線材料の更新	3.0	3.0	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	
	3	主要設備機器の更新	3.0	3.0	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	
	2.4 信頼性		2.6	2.6	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	
	1	空調・換気設備	3.0	3.0	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	
	2	給排水・衛生設備	1.0	1.0	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	
3	電気設備	3.0	3.0	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-		
4	機械・配管支持方法	3.0	3.0	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-		
5	通信・情報設備	3.0	3.0	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-		
3 対応性・更新性			3.7	3.7	0.29	0.29	-	-	-	-	-	-	3.7	3.7
3.1 空間のゆとり		3.4	3.4	0.31	0.31	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	階高のゆとり	3.0	3.0	0.60	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ	4.0	4.0	0.40	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり		5.0	5.0	0.31	0.31	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.3 設備の更新性		3.0	3.0	0.38	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0	3.0	0.17	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	3.0	0.17	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	電気配線の更新性	3.0	3.0	0.11	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	通信配線の更新性	3.0	3.0	0.11	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	設備機器の更新性	3.0	3.0	0.22	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	3.0	0.22	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0
1 生物環境の保全と創出[生物環境の保全]			3.0	3.0	0.30	0.30	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	3.0	0.40	0.40	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	3.0	0.30	0.30	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性													3.3	3.5
LR1 エネルギー					0.4	0.4	-	-	-	-	-	-	3.3	3.6
1 建物の熱負荷抑制			3.0	3.0	0.30	0.30	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 設備システムの高効率化			4.0	5.0	0.30	0.30	-	-	-	-	-	-	4.0	5.0
4 効率的運用			3.0	3.0	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0
4.1 モニタリング		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	3.1	3.1
1 水資源保護			3.0	3.0	0.15	0.15	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0
1.1 節水		3.0	3.0	0.40	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	3.0	0.60	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無 [雨水利用率]	3.0	3.0	0.67	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無 [雑排水等の利用率]	3.0	3.0	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	3.0	0.63	0.63	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0
2.1 材料使用量の削減		2.0	2.0	0.07	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	3.0	0.24	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	3.0	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	1.0	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	3.0	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	5.0	0.24	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	3.6	0.22	0.22	-	-	-	-	-	-	3.6	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	3.0	0.32	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	4.0	0.68	0.68	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	消火剤	4.0	4.0	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	断熱材	5.0	5.0	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	冷媒	3.0	3.0	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境					0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	3.7	3.8
1 地球温暖化への配慮			4.6	5.0	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	4.6	5.0
2 地域環境への配慮			3.5	3.5	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	3.5	3.5
2.1 大気汚染防止		5.0	5.0	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.3	3.3	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	3.0	3.0	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	交通負荷抑制	4.0	4.0	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	3.0	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	3.0	0.40	0.40	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	3.0	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	騒音	3.0	3.0	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	振動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	悪臭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.2 風害・日照阻害の抑制		3.0	3.0	0.40	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	風害の抑制	3.0	3.0	0.70	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	日照阻害の抑制	3.0	3.0	0.30	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	3.0	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	外に漏れる光への対策	3.0	3.0	0.70	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光への対策	3.0	3.0	0.30	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 管理事務所

■評価ソフト: CASBEE-RNb_2009(v.1.3)_kmt2010(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-熊本《改修》2010年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		76.5
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進				88.7	0.40	35.48
Q1-2.1.3	外皮性能	1.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.2	昼光制御	4.0	0.05			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				57.5	0.20	11.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.35			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.35			
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.10			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.10			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.10			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75.0	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				72.7	0.20	14.54
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.7	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 管理事務所

■評価ソフト: CASBEE-RNb_2009(v.1.3)_kmt2010(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-熊本《改修》2010年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		73.5
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進				81.2	0.40	32.48
Q1-2.1.3	外皮性能	1.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.2	昼光制御	4.0	0.05			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				57.5	0.20	11.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.35			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.35			
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.10			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.10			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.10			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75.0	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				72.7	0.20	14.54
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.7	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。


◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)


評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケー

CASBEE[®]熊本《改修》【性能表示】 (改修前)

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	管理事務所	階数	1.00	
建設地	熊本県宇城市小川町東小川650	構造	RC造	
用途地域	0	平均居住人員	15 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,000 時間/年	
建物用途	事務所,	評価の実施日	2010年11月1日	
新築時竣工年月	不明	作成者		
経過年数	不明 年	確認日	2010年11月15日	
敷地面積	51,650 m ²	確認者		
建築面積	131 m ²	現在までの主な改修履歴	内壁ビニールクロス張替え、空調機取替え、外壁木板張り、外壁塗装	
延床面積	131 m ²			

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

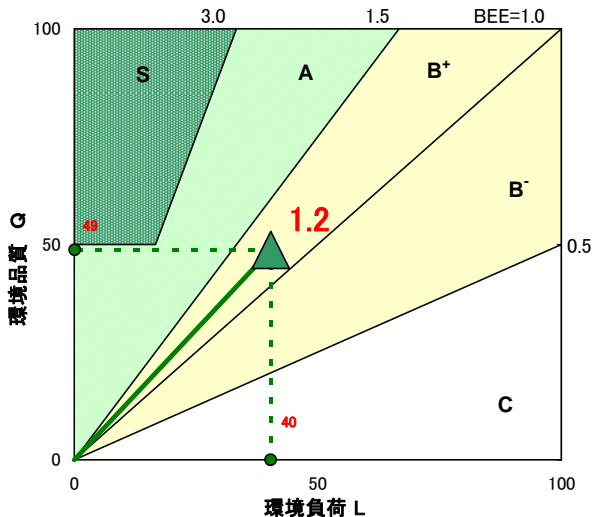


BEE = 1.2

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$


■ CASBEE 評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	☆☆☆☆☆	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	☆☆☆☆	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	☆☆☆	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	☆☆	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	☆	劣る	0.5未満	—



2 熊本県重点評価結果

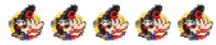




■ 重点事項総合評価



74

重点事項	評価点
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	81.2
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	57.5
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75
【重点事項4】 循環型社会の実現	72.7

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

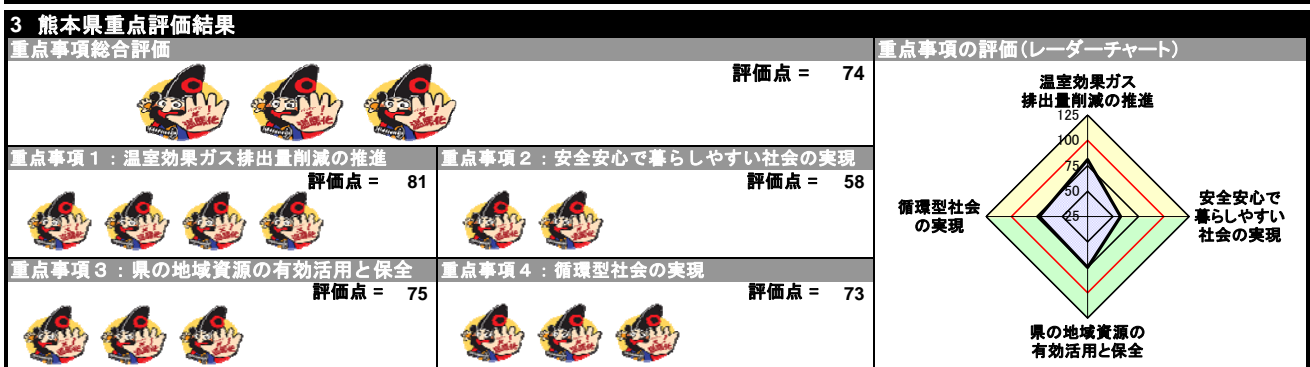
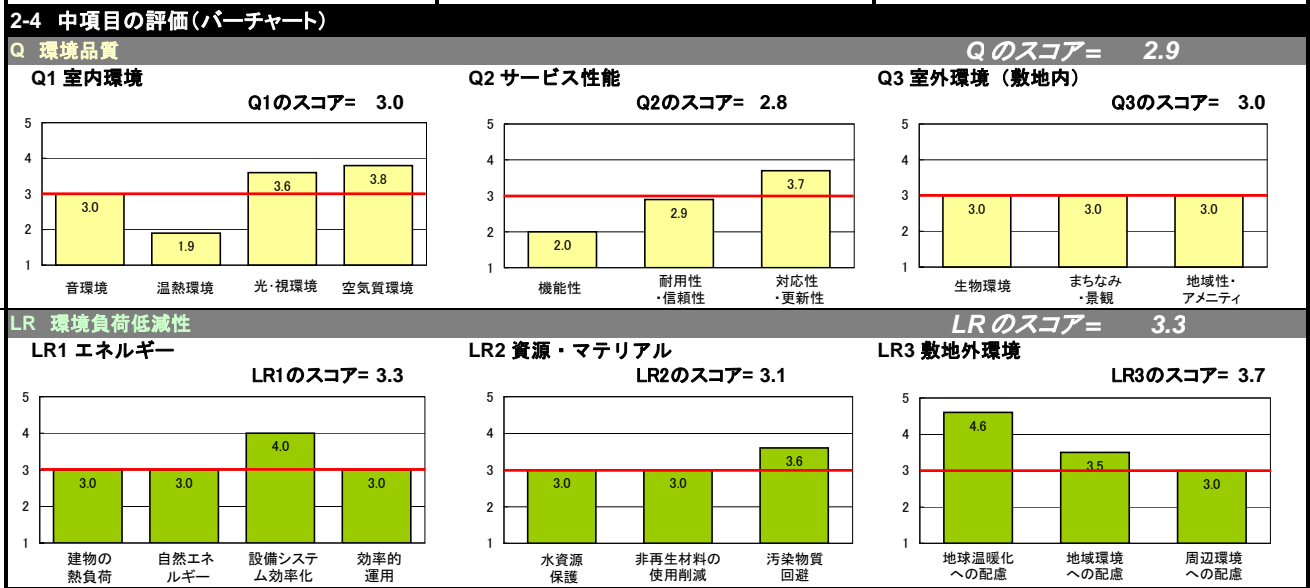
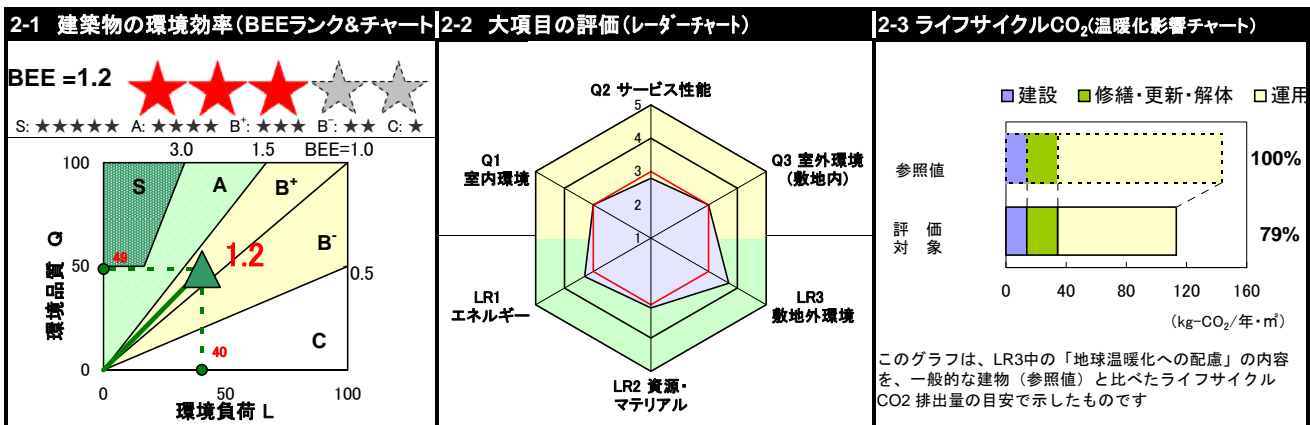
※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE[®] 熊本 《改修》【評価結果】 (改修前)

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版) 2009年版

■使用評価ソフト: CASBEE-RNb_2009(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	管理事務所	階数	1.00
建設地	熊本県宇城市小川町東小川650	構造	RC造
用途地域	0	平均居住人員	15人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	事務所	評価の実施日	2010年11月1日
新築時竣工年月	不明	作成者	
経過年数	不明年	確認日	2010年11月15日
敷地面積	51,650 m ²	確認者	
建築面積	131 m ²	現在までの主な改修履歴	内壁ビニールクロス張替え、空調機取替え、外壁木板張り、外壁塗装
延床面積	131 m ²		



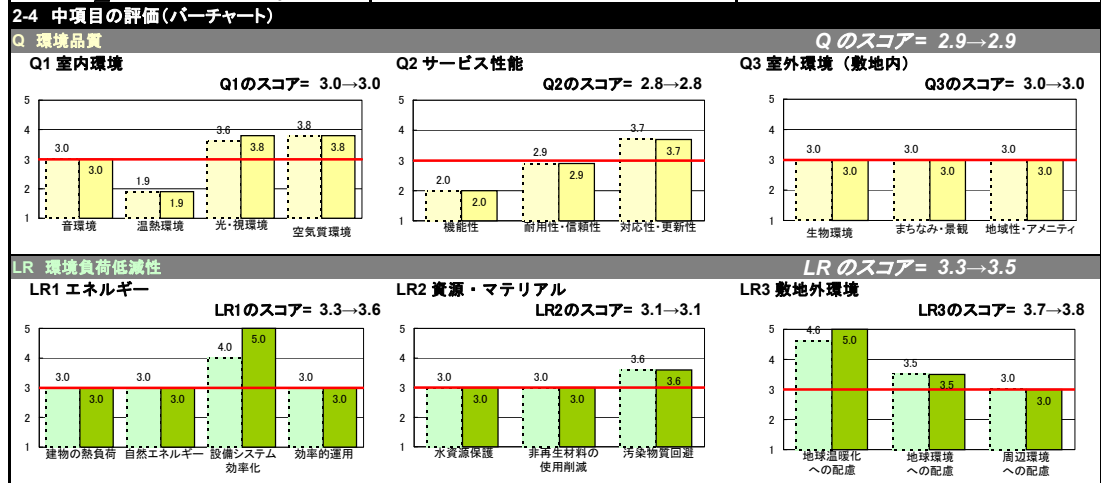
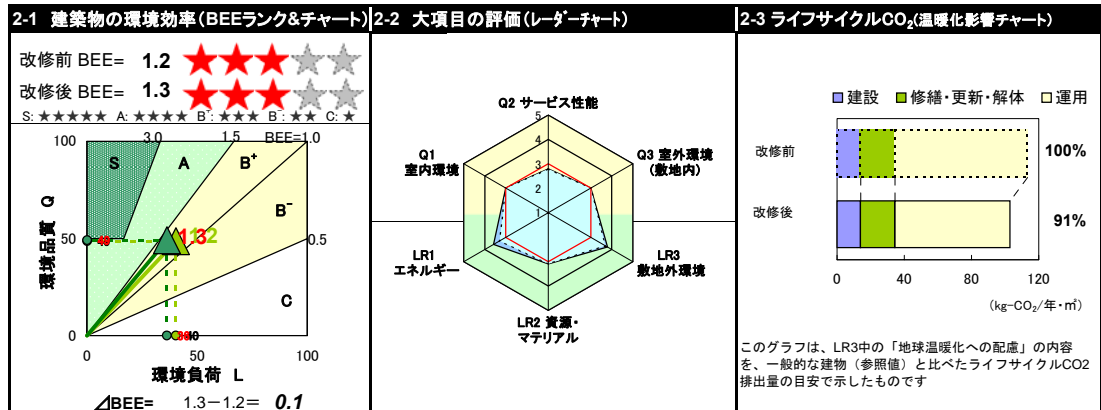
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE 熊本《改修》【評価結果】

(改修前後の比較)

■ 使用評価マニュアル: CASBEE改修(熊本版) 2009年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-RNb_2009(v.1.3)

1-1 建物概要		改修後		改修の概要	
改修前		改修後		改修の概要	
建物名称	管理事務所	建物名称	管理事務所	現在までの主な改修履歴	内壁ビニールクロス張替え、空調機取替え、外壁木板張り、外壁塗装
建物用途	事務所	建物用途	事務所	改修後の想定使用年数	30年
新築時の竣工年	不明	改修竣工年	2011年1月	改修目的	省エネ
建築面積	131.41 m ²	建築面積	131.41 m ²	改修対象項目	
延床面積	131.41 m ²	延床面積	131.41 m ²	躯体	なし
階数	1	階数	1	外装	なし
構造	RC造	構造	RC造	内装	なし
平均居住人員	15人	平均居住人員	15人	設備	照明器具の取替え
年間使用時間	3000時間/年	年間使用時間	3000時間/年	改修工事期間	2009年1月1日～2009年12月10日



3 設計上の配慮事項

総合	その他
本計画書は、熊本県中小企業者温暖化対策事業の申請に係る添付書類(建築物環境配慮計画書)として作成するものである。	0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー 事務所内の照明器具を「省エネ照明器具」に取り替える。	LR2 資源・マテリアル
	LR3 敷地外環境

